

【府民向け】大阪府生物多様性地域戦略に関するアンケート調査

問1 大阪府生物多様性地域戦略では 2050 年のめざすべき将来像として「大阪から世界へ、現在から未来へ 府民がつくる暮らしやすい持続可能な社会」を掲げ、2030 年までに下記の(1)～(3)の状態をめざすこととしています。

(1)～(3)の進捗状況について、2020 年頃と比べて、あなたはどのように感じていますか。

(1)生物多様性の保全や自然資本の持続可能な利用の機運が醸成され、多様な主体が連携し、府域の自然環境の保全及び回復活動が進んでいる。

- ☐ 非常に進んでいる ☐ やや進んでいる ☐ わからない
☐ あまり進んでいない ☐ まったく進んでいない

(2)府民、事業者、民間団体などあらゆる主体が生物多様性の重要性を理解し、日常生活の中でも自然環境に配慮した行動をしている。

- ☐ 非常に進んでいる ☐ やや進んでいる ☐ わからない
☐ あまり進んでいない ☐ まったく進んでいない

(3)希少な野生生物について生息状況のモニタリングが進むとともに、関係者が連携して特定外来生物の防除対策が進んでいる。

- ☐ 非常に進んでいる ☐ やや進んでいる ☐ わからない
☐ あまり進んでいない ☐ まったく進んでいない

問2 あなたは生物多様性に関してどのような取り組みを行っていますか。

()

問3 あなたが生物多様性に関する取り組みを行う上での、課題を教えてください。〔複数回答可〕

- ☐ 人手不足・高齢化・活動メンバーの固定
☐ 資金不足
☐ 知識・技術不足
☐ その他 ()

問4 あなたは、生物多様性に関して、2050 年の大阪はどのようなようになってほしいですか。

()

問5 問4でお答えいただいた 2050 年の大阪の姿に向けて、大阪府にどのような取り組みを求めますか。特に重要と思うものを選択してください。

〔複数選択可〕

【生物多様性の理解と行動の促進】

- ☐ 府民の行動変容を促すための情報発信
☐ 事業者の取組の促進
☐ 教育現場での取組の促進

- ☐ 生物多様性に触れ合うイベントの充実・情報発信
- ☐ 市町村における生物多様性への理解と取組の促進
- ☐ 外来生物に関する普及啓発
- ☐ その他（ ）

【自然環境の保全・利用】

- ☐ 法令等による保護地域の拡充
- ☐ 自然共生サイト等による保全地域の拡充
- ☐ 里地・里山等の保全活動への支援
- ☐ 自然と触れ合える場（自然公園・都市公園・都市緑地・親水河川等）の整備
- ☐ 森林整備や多自然川づくり、干潟・藻場の創造など行政主導による環境整備
- ☐ 事業者等による生物多様性に資する取組の促進
- ☐ 外来生物の防除の推進
- ☐ その他（ ）

【生物多様性保全に資する仕組みづくり】

- ☐ 野生動植物の生息状況等の把握
- ☐ 希少種等のモニタリング（レッドリストの改訂・活用）
- ☐ 野生鳥獣（シカ・イノシシなど）の保護管理（捕獲等による個体数調整）
- ☐ 生物多様性に関するリーフレット・冊子や調査データ等のデータベース化
- ☐ その他（ ）

問6 問4でお答えいただいた 2050 年の大阪の姿に向けて、あなたはどのような取組みができると思いますか。

（ ）

問7 その他、生物多様性やネイチャーポジティブに関して、意見等があればご自由にお書きください。

（ ）

問8 あなたについて、教えてください。

① ご年齢 （20 代以下 ・ 30 代 ・ 40 代 ・ 50 代 ・ 60 代 ・ 70 代以上 ）

② ご所属

（民間団体（ボランティア） ・ 事業者 ・ 研究機関（大学、博物館など） ・ 学生 ・ その他）

③ 差し支えなければ、ご所属の団体名を教えてください。

（ ）

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。